

一般部参考手本

十月

〈実用部〉

昔通った裏道を一人ぼっちで来れば
知れぬ街にまたようが
あんな様う曲ったら
唐の花咲く、御門のお家はあつたし

〈鑑賞部〉

白露に風のふきく

秋の風は つつめくともぬ
こゝろ散りける
又へもより...

白露に風のふきく秋の野は

〈臨書部〉

御香雨裏及左衛士將

善書状並謹領乾

御香雨裏。及左衛士 督尊書状。並謹領乾。

学生部参考手本

十月

〈小五〉



野山の木々に
実がみのり出し
小鳥や動物たちが
実を食べに集まります
小五名 前

〈小二〉

町会の人たちが
みんなて
そうじをしている
小二名 前

〈中学〉 〈入門〉

秋の富士山を見ながら
葡萄狩りに出掛けませんか。
十月の第三日曜日あたりは
如何でしょうか
中学部 名 前

〈小四〉

運動会
君は一等、ぼくはビリ
なきたい気持ちで
ゴールイン
小四名 前

〈小二〉

つなひき
力をこめて
一、二の三
小一名 まえ

〈小六〉

昼間は風に乗って
夜は光に乗って
花屋の窓を、果物を
秋はこっそり変えに来る
小六名 前

〈小三〉

木のはの色が
赤や黄色に
いろづいてきます
小三名 前

〈幼児〉

きくのはな
ようなまえ

